

うちのチームが優勝するで！

第3回 山南地区民運動会

6月24日(日)香我美トレーニングセンターで山南地区の自治会対抗運動会が開催されました。

たくさんの年代の人に出てもらえるように、参加しやすい競技を計画しました。子どもをおんぶして走るパン食い競争や5人一組のムカデ競争などは、抜きつ抜かれつ一生懸命！最終競技の年代別リレーは、走っている間にだんだん順位が落ちてくる自治会もあり番狂わせも。優勝は3年連続優勝のコスモス自治会で、住民の団結力の強さを伺わせました。



めざせ！横綱！！

香南市相撲教室



毎週日曜日(午前9時から)が活動日です。興味のある人は香我美小学校相撲場まで。

7月1日・8日(日)の両日、香我美小学校相撲場で香南少年相撲クラブ主催の相撲教室が行われ、相撲をとおして体力向上や、あいさつ、礼儀を大切にすることを目的に開かれました。1日には約15人の参加者があり、中には女の子も。基礎練習の「しこ」や「すり足」などを習いました。昼食のカレーを食べるころにはみんな仲良しに。「楽しかった！」と相撲教室に2日間とも参加する子どももいました。

早ね・早おき・朝ごはん

香南市こどもいきいきフォーラム



6月23日(土)こどもいきいきフォーラム」が行われ約200人の親子が、ふれあい活動の大切さや、いきいきと活動できる子どもの育成を考えるイベントに参加しました。野市小体育館で行われたレクリエーションでは、指導者の動きに合わせて、親子で体を動かしました。また、のいちふれあいセンターでは「早ね早起き朝ごはんでこどもいきいき」と題した講演会やパネルディスカッションが行われ、子どもの生活リズムや親子のスキンシップの大切さを呼びかけました。

ごはんは元気のもと！

元気になるお弁当づくりと楽しい仲間づくり

6月30日(土)香我美市民館で小学生親子を対象にお弁当づくりと合わせた健康教室が開催されました。食の大切さを見直そうとかがみスポーツクラブが主催し小学生の親子6組14人が参加。ミニ講演で朝ご飯が元気のもとになることや、夏を元気に過ごすおやつを取り方を学習し、お弁当づくりでは、チューリップの巻き寿司に挑戦しました。切るとかわいいチューリップが現れて大好評の巻き寿司など、できあがったおかずを各自お弁当箱に彩りよくつめていました。

12月1日にも開催予定です。参加してね！



戦争を知らない子どもたちに



地雷模型と子どもたち(赤岡小)

赤岡小学校では戦後に起こった悲惨な事故を忘れないために、地雷の模型を使った平和学習を行っています。当時を知る地元の人に戦中の体験を話してもらったり、平和を願う歌を歌ったりと、戦争の悲惨さや平和の大切さを学んでいます。吉川小学校でも以前に赤岡小から地雷の模型を借りて、学習を行いました。海岸を共にする吉川小学校も赤岡海岸で起こった事故は、他人事ではありません。修学旅行では、広島島の原爆



平成12年8月9日地雷模型を使った平和集会(吉川小)

ドームを訪れ、平和学習を行っています。2年前からは両校が一緒に聞き取り学習を行っており、広島で被爆した人の話を聞く機会を持つようになりました。平和学習をうけて吉川小学校の児童は、「原爆のおそろしさやがだんだん分かってきました」「(平和学習の講師の)下原先生は今でもとても覚えてるので、それぐらい戦争がおそろしかったんだと思います」「自分たちは、生きているんじゃない、生かされているんだ。」という言葉です。ほくも、その言葉をいつも心においておきます」という感想をあげています。修学旅行から帰り、全校集会で学習の発表を行い、学ん



修学旅行先で合同で行った平和学習

で来たことを下級生に伝えました。今年も8月6日の広島原爆投下の日に、両校で平和集会を行う予定です。

もう繰り返さない

まもなく62回目の終戦記念日を迎えます。9人の幼い子どもたちの命を奪った赤岡海岸での地雷爆発の惨事を目の当たりにした生き証人も数少なくになりました。悲惨な戦争の記憶も年とともに薄らいでいますが、世界各地では今なお、紛争が絶えることはありません。戦争が終結した地域でも、埋められた7千万個の地雷によって、一日に70人以上の住民が犠牲になっているのが現状です。香南市の子どもたちも、それぞれの学校で毎年、戦争、平和について学習しています。戦争体験者は次世代に戦争の恐ろしさを伝える責任があり、戦争を知らない人はそれを学ぶ義務がある」といわれます。戦争のない平和な世の中にするために、今、私たちは何をすべきか、何ができるかを考え行動することが一番の責務だと思います。